

南学区まちづくり推進委員会

委員長 佐藤 憲明

(問合せ先) 084-932-0374 (南公民館)

事業内容

- (1) わくわくカフェ「背骨コンディショニング体操教室」(1月23日10名)
- (2) ふるさと祭り(中止)
- (3) とんど火祭り(中止)
- (4) ふれあい広場文化祭(中止) 代わりに、(11月)「ふれあい広場新聞」を発行(全世帯)
- (5) 道三川の環境・美化活動(5月13日、道三川雑木伐採他、90名、10月25日、道三川221名)
- (6) 敬老福祉活動(11月1日、老人福祉スポーツ大会(グラウンドゴルフ大会)63名)
- (7) まちづくり推進活動運営費(事務費等)
- (8) 児童安全推進事業(週2回、学童通学路安全見守り・声掛け、ボラティア70名、延べ800名)
- (9) 防犯活動事業(夜間見守りと防犯パトロール(月2回、20名、延べ750名)、防犯啓蒙広報の配布・高齢者対象防犯勉強会開催)
- (10) 地域福祉活動推進事業(いきいきサロン(中止)・健康講座(中止)・三世代交流ウォーキング(中止)・シニアグラウンドゴルフ大会(8月29日・11月23日・12月19日(いずれも緑町公園、延べ154名))
- (11) エバーグリーン活動(6月9日・9月20日・3月20日、南小学校芝生手入れ延べ200名)
- (12) 自主防災活動(通年 11月9日・10日防災倉庫機材整備)
- (13) 環境・公衆衛生活動(通年 環境啓発ポスター・標語募集)
- (14) 町内会活動活性化事業(通年)



(シニアグラウンドゴルフ大会)



(エバーグリーン芝生手入れ)

成果

高齢者が集うサロン等がコロナ禍の影響でほとんど開催できない状況の中、屋外競技であるグラウンドゴルフが高齢者に好まれ、万全の対策の中、多数の参加があった。

課題

まちづくりを構成する各団体の役員が高齢化、一人が多くの役職を兼務しているのが実情。次の世代を担う人材を育てることが急務である。

課題解決にむけて

各団体同士の連携を密にしながら、仕事面で現役かりタイアされているかに拘わらず、役員を担ってもらえる人材の発掘に全力を注ぎたい。

「ふれあい広場新聞」を発行しました

南学区では例年、『ふれあい広場文化祭』を開催しています。この文化祭は、子どもたちや地域の団体の発表とともに、体験コーナーや手作り料理などの模擬店も並ぶ賑やかな行事で40年の伝統がありますが、2020年度は新型コロナウイルスの影響で中止しました。

しかし、「このような時だからこそ、人と人のふれあいや身近な地域とのつながりが大切になる」という考えから話し合いを重ねて、『ふれあい広場新聞』を発行して小学校や学区の各世帯などへ配布しました。

【紙面（全6ページ）の主な内容】

- ・南小学校の児童の総合学習や、地域の団体の活動の紹介
- ・コロナ禍でも活動している下校時の「見守り隊」の紹介
- ・児童の優秀標語や、例年の『ふれあい広場文化祭』の様子 など



記事やイラスト作成など、大人から子どもまで多くの人に参加してもらい、お互いの思いやつながりを感じてもらえるよう努めました！

例年の文化祭や地域のことを、4コマ漫画やクロスワードパズルとして楽しめるよう工夫しました！

南学区の風景



コロナに負けず、道三川で
まどろむカルガモの母親、
そして17匹の子ガモたち

(2021年春)

(写真提供者：御門町一丁目 藤原弘旦さん)